

<第5弾> Press Release

クルマを超えて、クルマを楽しむ。
Classic Meets Modern and Future

AUTOMOBILE COUNCIL 2024

故マルチェット・ガンディーニ追悼展

「In Memory of Marcello Gandini」 展示車変更 フル4シーターのスーパーカー「ランボルギーニ・エスパルダ」展示

AUTOMOBILE COUNCIL 実行委員会

先のプレスリリースで発表した通り、AUTOMOBILE COUNCIL 2024では、3月13日に亡くなったマルチェット・ガンディーニの追悼展を実施いたします。

3月21日付プレスリリースでは5台の展示車を発表しましたが、そのうち急遽1台を入れ替えることを決定したのでお知らせします。アルファ・ロメオ・モンテリオール（1975）に替わるのは、ランボルギーニ・エスパルダ・シリーズ2（1970）です。

●ランボルギーニ・エスパルダ・シリーズ2（1970）

世界一速い4人乗り、というだけでなく ground-breaking（画期的）なフル4シーターGTを生み出した、という創業者フェルッチョ・ランボルギーニの強い思いから1968年ジュネーブショーでデビューしたのがエスパルダだ。設計はジャンパオロ・ダラーラ。デザインはもちろんガンディーニ。すなわちミウラと同じコンビが作り上げた革新的フロントエンジンV12である。今回展示するのは、70年のブラッセルショーで初公開されたシリーズ2で、S 1と同様4灯式ヘッドライトの内側2灯が微妙に低い位置に配置され、リアエンドパネルの上端をガラスとすることで、



後方視界を改善する等、3シリーズ中最も挑戦的かつチャーミングなモデルである。美しく伸びやかで、しかも均整の取れた傑作プロポーションが必見の1台。

マルチェット・ガンディーニ

1938年、奇しくも同じ年に、世界のカーデザインを新時代にリードする3人のデザイナーがイタリアに生まれた。

VW ゴルフやフィアット・パンダで実用車の造形に新しい指針をもたらしたイタルデザインのジョルジュット・ジュジャロー、クラシックからモダンへピニンファリーナをブレークスルーさせたレオナルド・フィオラヴァンティ、そして、ベルトーネを率いたマルチェット・ガンディーニである。

彼のデザイン最大の特徴は先鋭的であること。ランボルギーニ・ミウラはスーパーカーのデザインを新境地に導いたし、同カウンタックの大胆かつ未来的なウェッジシェイプは新時代のスポーツカーデザインの金字塔と断言できる。ロータス・エスプリはじめ他の多くのスポーツカーに影響を与え、ランボルギーニ自身ミッドエンジン・モデルは、今も同じモノフォルムのデザインランゲージを継承し、永遠に錆びない普遍性を証明している。フィアット X1/9、ルノー・ジュベール・サンク、シトロエン BX 等アフォーダブルな車のデザインでも傑作は多い。



※展示車両は、予告なく変更になる場合があります。

※写真©標記 [©CG ライブラリー]

一般問合せ AUTOMOBILE COUNCIL 2024 事務局

Tel : 03-6380-1011 e-mail info@automobile-council.com

報道関係からの問い合わせ先 AUTOMOBILE COUNCIL 2024 広報事務局

Tel : 090-8940-1683 e-mail press@automobile-council.com